

アジ研 ワールド・トレンド

発展途上国の明日を展望する分析情報誌

3

2009

第162号

特集●

学術情報へのアクセス向上を目指して

分析レポート●

三通解禁後の台湾と中国における空運と海運の変化





——グアテマラ、マヤの歴史を織る人びと—— サンアントーニオアグアスカリエンテス

撮影・解説：小林クレイ愛子、タペストリー作家

最後は1回目と同じサンアントーニオアグアスカリエンテス村。

最初の回の織物はこの家族の長女リディアの作品。糸をすくうための白いスティックを髪に挿しているマルガリータお母さんと2番目の娘ソイラも共に素晴らしい織り手であることは、着ている美しいウィピールでよくわかる。

以前はマルガリータのように、ウィピールの襟元に白いブラウスが見えるように着るのが伝統的だったが今はもう見られなくなった。スペイン統治時代の名残であろう。コルテ(スカートに当たる)の上には必ずかすり布で出来たかわいいエプロンを着けるのが習慣である。

ソイラはできたての豆料理を持っている。フリフォーレスは、豆を煮てつぶし、練った塩味のアンのようなもの。スクランブルエッグやチーズなどをトルティージャ(とうもろこしの主食)と食べる典型的なグアテマラの朝食であるが、織物同様手を抜くことなく昔ながらのやり方で丁寧に作られている。